

徐福伝説の波田須を
探索するみち

飛鳥町佐渡



起点 熊野市新鹿 (JR新鹿駅)

終点 熊野市 (JR熊野市駅)

延長 8.5km

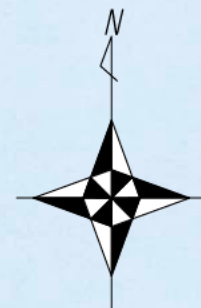
利用タイプ B

沿線の風景

JR新鹿駅から山側を歩き、国道311号を経て鎌倉時代に敷きつめられた石畳の残る熊野古道「波田須歴史の道」を辿る。大吹峠では、植林された林の中を歩くが、茶屋跡付近で突然現れる竹林が風情を醸しだしている。
大吹峠を歩き終えると大泊に着き、一部国道42号を歩いて今度は松本峠へ向かう。松本峠にある民話の残る地藏様や往時の賑わいを偲ぶ茶屋跡や寺子屋跡を見ながら峠を抜けていくと、美しい玉砂利海岸で有名な七里御浜を見渡すことができる。峠を下りて木本に着けば、そこでコースは終了する。

主な見どころ

鎌倉期の石畳道、徐福の宮、弘法大師の御足跡水、文字岩、大吹峠の竹林、松本峠の地藏など



凡 例	
▲案内標識	Ⓜ休憩所(四阿)
●指導標識	◊展望施設
■公衆トイレ	Ⓟ駐車場
〔利用タイプ〕	
Aタイプ 山地等でやや体力を要するコース	
Bタイプ 山地、丘陵地を通過するコースで一般向きのコース	
Cタイプ 全体がほぼ平坦なコースで小さな子供でも利用可能なコース	

1:25,000

